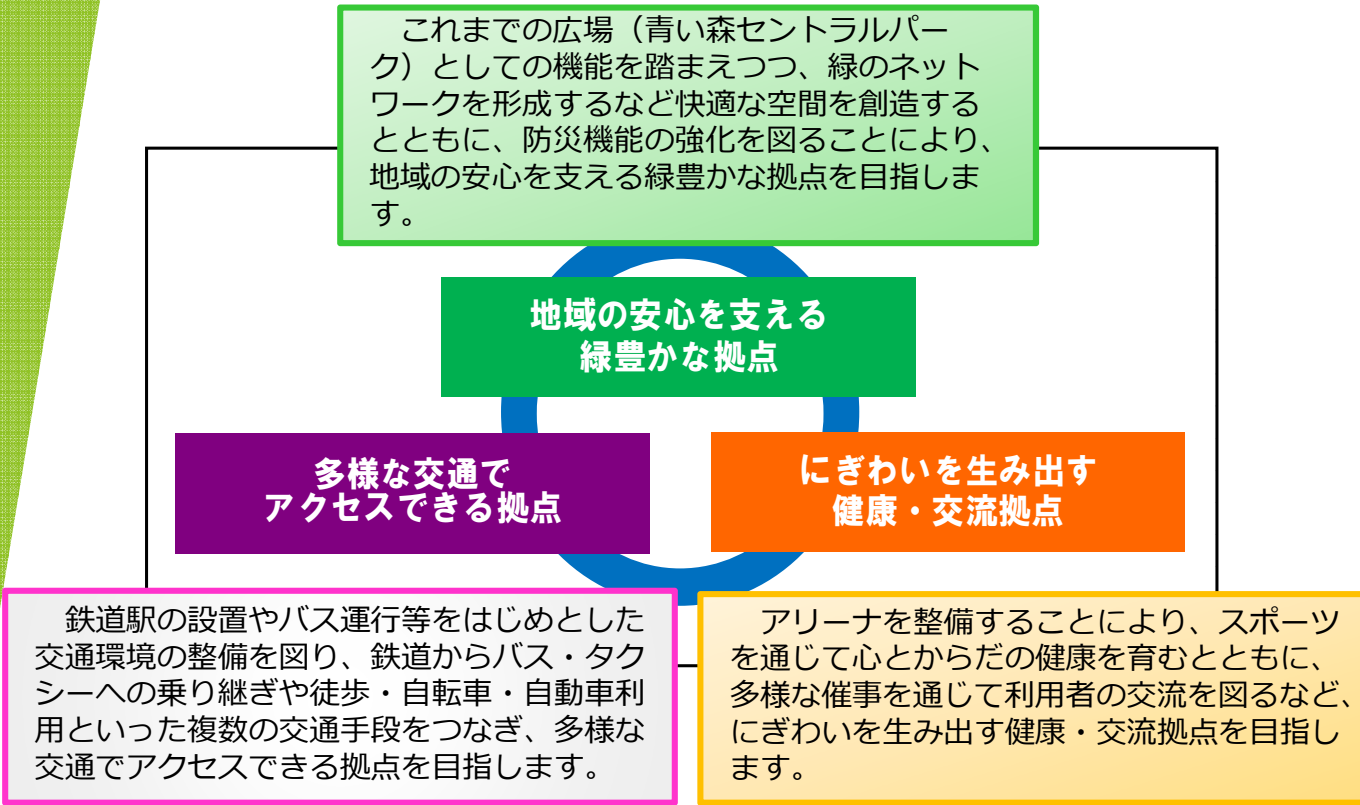


青森操車場跡地利用計画について

○土地利用の基本方針



【参考】 青森操車場跡地利用計画に関する答申書（平成25年3月答申）

1 防災機能を備えた公園としての利用

青森操車場跡地全体で青森らしさを表現した緑のネットワークを形成し、後世にわたり維持できるような快適な空間を創造し、青森市中心部における緑ゆたかな拠点とする。
また、青い森セントラルパークは青森市の広域避難所に指定されていることから、その機能を維持しつつ、防災公園としての機能付加及び避難スペースの確保を図る。

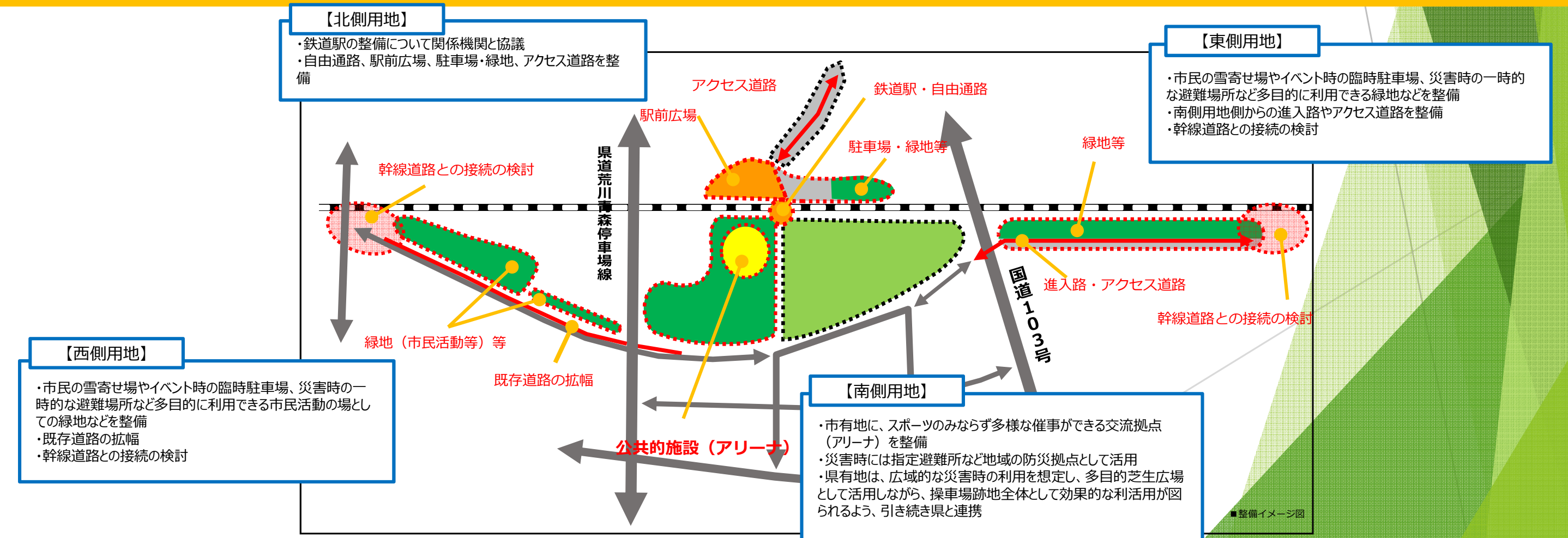
2 新駅設置を含む交通結節点としての利用

青森操車場跡地地区は、その地域性を活かし、新駅の設置等の交通整備を進め、鉄道からバスへの乗り継ぎや徒歩・自転車利用といった複数の交通機関が連携した交通結節点を目指す。
また、新駅への東西南北のアクセス強化と公共施設との連携による利便性向上を図る。

3 公共利用の観点から公共的な施設の建設用地としての利用

青森操車場跡地地区では、公共的な利便性、中心性、交通結節点としての優位性を踏まえ、市民交流の場を提供する多様な市民活動が展開できる拠点形成を目指す。

○整備イメージ

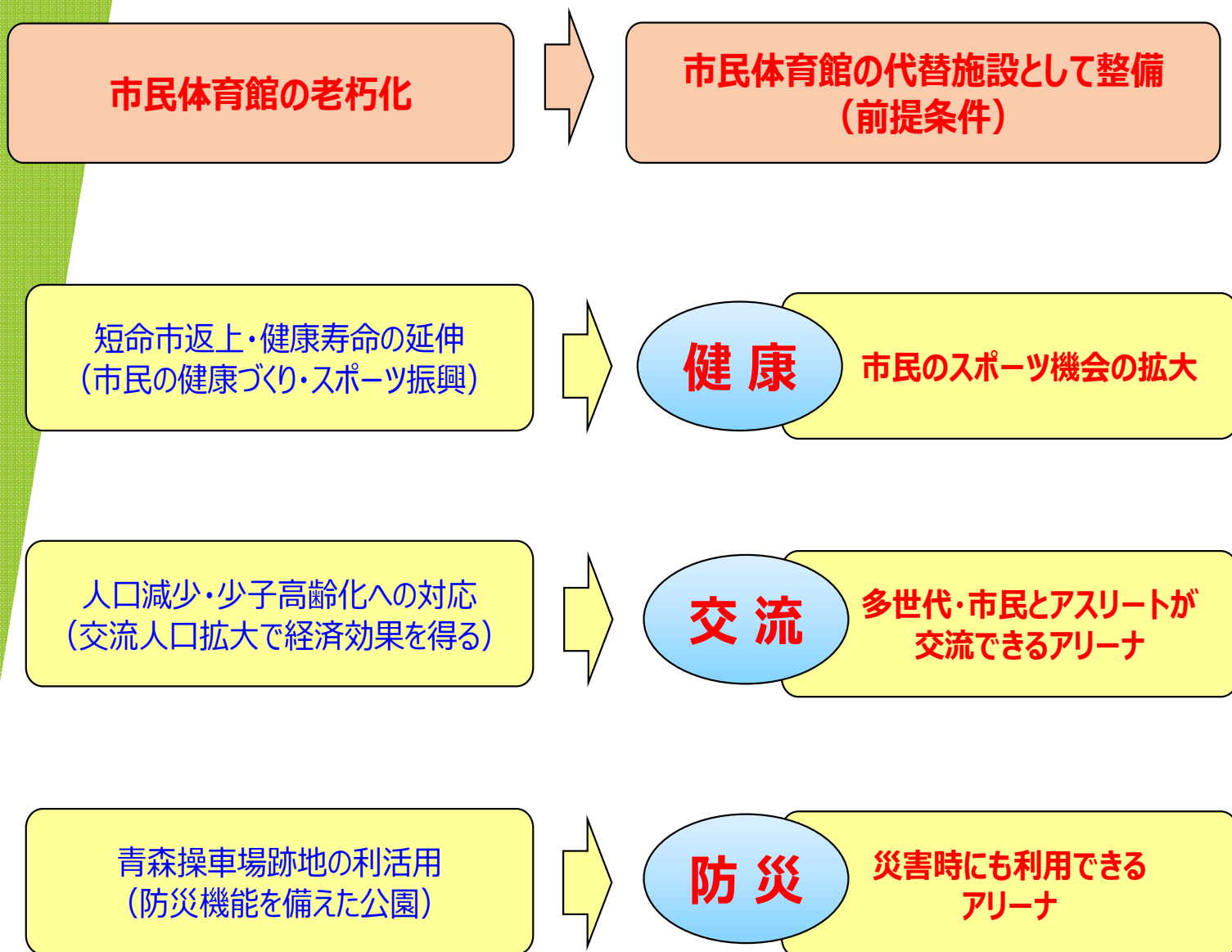


(仮称)青森市アリーナ及び(仮称)青い森セントラルパーク等整備運営事業について

○アリーナのコンセプトについて

<課題・ニーズ>

<本事業での対応>



○各施設の主要要求水準

青森市アリーナプロジェクト有識者会議でいただいた御意見及び市のスポーツ団体、関係者へのヒアリングにおける御意見を参考に、市が検討した青森市アリーナにおける各施設の主要要求水準は以下のとおりです。

施設	内容
メインアリーナ	<ul style="list-style-type: none"> ・面積は2,000㎡以上 (40m×50m以上) ・バスケットボールコート2面確保 ・Bリーグ及びVリーグの公式試合を開催する場合の観客席を3,500席以上確保 ・2025年開催予定の国民スポーツ大会での卓球競技が開催できる仕様 ・コンサート等のイベント時の観客席を5,000席以上確保
サブアリーナ	<ul style="list-style-type: none"> ・競技フロア面積は920㎡以上 (23m×40m以上) ・ソフトテニスコート1面以上
多目的ルーム	<ul style="list-style-type: none"> ・面積は560㎡以上 ・卓球、ダンス、囃子の練習、会議、研修等での利用を想定した施設
キッズルーム	<ul style="list-style-type: none"> ・面積は700㎡以上 ・年代に応じたエリア分けと遊具の設置 ・屋外の緑地・広場や遊戯施設との繋がりがあがる空間
その他諸室	<ul style="list-style-type: none"> ・器具庫、屋内ジョギングコース、ロッカールーム、大会関係者用諸室、医務室、授乳室、管理事務室、エントランスホール、トイレ、防災備蓄倉庫、機械室・電気室等必要な諸室を設置する。